

9 月 2 日にプランクトン調査(播磨灘)を行いましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚毒性を示す有害プランクトン(シャットネラ・オバータ、カレニア・ミキモトイ、ココロディニウム・ポリクリコイデス)が確認されましたが低密度でした。
- ・有毒プランクトン、旧称アレキサンドリウム・カテネラが確認されましたが低密度でした。
- ・小型珪藻類は、キートセロス属(最高 200 細胞/mL)が優占しています。その他、コシノディスカスが 0~15 細胞/mL の範囲で確認されています。
- ・播磨灘沖合の表層水温は約 26~28℃、塩分は約 29~30 の範囲で推移しています。

表：2021 年 9 月 2 日 有害・有毒プランクトン調査結果 (海水 1 ミリリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	カレニア・ミキモトイ	ココロディニウム・ポリクリコイデス	旧アレキサンドリウム・タマレンセ	旧アレキサンドリウム・カテネラ
KA23	0	0	0	0.10	0	0	0	0
	10	0	0	0.05	0	0	0	0
KA1	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA2	0	0	0	0.05	0	0.20	0	0
	10	0	0	0.05	0	0	0	0
KA3	0	0	0	0.15	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA4	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
KA5	0	0	0	0	0.25	0	0	0
	10	0	0	0	0.85	0	0	0
KA6	0	0	0	0.10	0	0	0	0
	10	0	0	0.05	0.20	0	0	0.35
KA7	0	0	0	0	0	0	0	0.10
	10	0	0	0	0	0	0	0
K4	0	0	0	0.05	0	0	0	0
	10	0	0	0.05	0.60	0	0	0
HK1	0	0	0	0.05	0.10	0	0	0
	10	0	0	0.10	0	0	0	0
T3	0	0	0	0.45	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0
SH	0	0	0	0.30	0	0	0	0
	10	0	0	0.15	0	0	0	0
屋島湾	0	0	0	0.20	0	0.10	0	0
	5	0	0	0.10	0	0.15	0	0

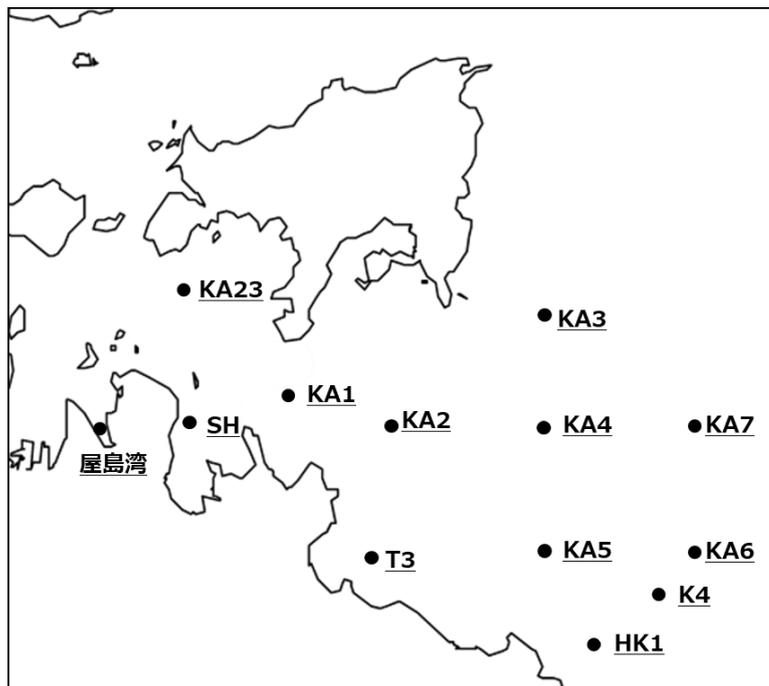
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：浅海定線調査事業）



【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
ココロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL